FIT活動報告2019

福岡大学国際センター

What is FIT?

★ＦＩＴ（フィット）について★

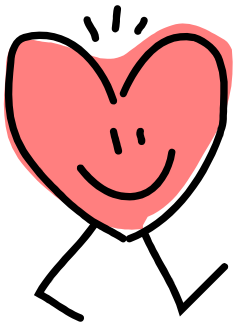
ＦＩＴは「Fukuoka University International Team（福岡大学国際交流チーム）」の頭文字を取って名付けられました。

ＦＩＴは登録制のボランティアで、現在約270名の学生が登録しています。

ＦＩＴは、国際センターが海外の協定大学から受入れる交換留学生や短期研修生を支援するサポート役として活動しています。

言葉や生活習慣の違いで戸惑うことが多い外国人留学生に対する支援活動には、本学学生のみなさんの協力が必要です。

この活動報告書を読んで、少しでも国際親善交流活動に興味が湧いたら、ＦＩＴに参加してみてください！登録方法はこの冊子の最後に記載しています。



受入れ交換留学生の生活支援サポート

福岡大学では毎年４月と９月に協定大学から交換留学生を受入れています。交換留学生が来日した際に、FITボランティアにキャンパス案内や区役所での住民登録、国民健康保険加入、銀行口座開設、履修登録などのサポートをお願いしています。

～2019年４月には32名の交換留学生が来日～

タンペレ大学（フィンランド）1人、高麗大学校（韓国）1人、蔚山大学校（韓国）1人、東義大学校（韓国）1人、仁川大学校（韓国）5人、釜山大学校（韓国）1人、東亜大学校（韓国）1人、釜慶大学校（韓国）２人、啓明大学校（韓国）3人、国民大学校（韓国）1人、東国大学校（韓国）1人、慶南大学校（韓国）1人、慶北大学校（韓国）1人、揚州大学（中国）2人、煙台大学（中国）1人、中央財経大学（中国）1人、ハルピン理工大学（中国）1人、輔仁大学（台湾）２人、国立高雄大学（台湾）1人

※培材大学校（韓国）2人　※フリードリヒ・シラー大学イエナ（ドイツ）2人

～2019年９月には31名の交換留学生が来日～

ニューカッスル大学（イギリス）1人、リーズ大学（イギリス）1人、リヨン政治学院（フランス）2人、セルジー・ポントワーズ大学（フランス）3人、リエージュ大学（ベルギー）1人、タンペレ大学（フィンランド）1人、広州大学（中国）2人、揚州大学（中国）1人、黒竜江大学（中国）1人、煙台大学（中国）1人、中央財経大学（中国）1人、西安交通大学（中国）2人、華東師範大学（中国）1人、慶北大学校（韓国）2人、東亜大学校（韓国）1人、釜山大学校（韓国）2人、国民大学校（韓国）2人、ハノイ大学（ベトナム）1人、※フリードリヒ・シラー大学イエナ（ドイツ）3人

※デュースブルク・エッセン大学（ドイツ）1人、※パリ・ディドロ大学ーパリ第7（フランス）1人、**※人文学部受入交換留学生**

●○●ボランティアの感想●○●

韓国、台湾、中国の留学生と最初は緊張したけれど、帰りにはとても仲良くなっていたので良かったです！（CF女性）

楽しくお話ししながら、銀行へ向かいました。不備があっても、みんなきちんと日本語で返答して、きれいに文字を書いていて感心しました。（CF女性）

日本語がきれい！！！雑談ばかりで役に立てたかわからないけど、また参加したいです！（LA女性）

今日は韓国人と中国人の方々がいて、いろんな言語が飛び交っていました。でもみなさん私たちの話を一生懸命きいてくれて手続きも今までで一番スムーズに終わりました。（CC女性）

結構待つ時間もあったのですが、みんな文句も言わずに待ってくれて助かりました。たくさん交流もできて良かったです。（CC女性）

久しぶりに新たな友達ができて楽しかったです。また、「郵便ポスト」がわからなかったり、日本語がわからなかったり説明に苦労することが多くありましたが中国人の熱心さに感動しました。（CC女性）

はじめましての留学生9人でしたが、みんなフレンドリーで地下鉄に乗るころにはみんなで笑って話せるようになっていました。ほとんどの留学生が初めて日本に来たにもかかわらず、みんな日本語が上手でびっくりしました。（JB男性）

来日してすぐの時よりみんなに笑顔が増えて、だんだん日本に慣れてきたようなのでほっとしました。（SD男性）

日韓関係が悪い中でお互いの国の思想や文化を交流することは非常に有意義なものだったと感じます。たとえ国同士がケンカをしていても国民単位では仲良くするべきだと私は思います。なので、相手の立場に立って物事を考えてみるという姿勢を大切にしながら今後の活動にも取り組みたいです。（SD男性）

アジアの学生に比べて漢字の書きが苦手な人が大半。時間が倍かかったけどみんなが底なしに明るかったから非常に楽しかった。（LE男性）

皆フレンドリーで待ち時間もそれぞれの文化、学校のことを話し合ったりすることもでき、口座開設の手続きの時も理解が早く、スムーズにできました。（JJ女性）

英語を話すことが苦手だから通じるか不安だったが、単語でも話すようにして楽しくお話しすることができた。また、日本語を話せる留学生もたくさんいて楽しくお話しできた。(SC女性)

前日までに使えそうな英語など勉強して当日を迎えましたが、みんな難なくスムーズに日本語を話せていたことに驚きました。(JJ女性)

フランスやベルギーからの留学生は日本語でも会話が少しできた。（LF女性）

ヨーロッパの留学生達と交流を深めることができて、福大の魅力等を少しでも伝えられたと思いました。（EE男性）

受入れ交換留学生の太宰府天満宮・九州国立博物館見学引率

国際センターでは毎年協定校からの交換留学生を対象に、太宰府天満宮・九州国立博物館の見学を行なっています。FITが引率し、見学先での案内を行ないました。

●○●ボランティアの感想●○●

今回初めてのFIT活動で、知り合いもいない状況だったのではじめは緊張しました。でも、みんなとてもFriendlyであっという間に仲良くなることができました。日本の文化を伝えることがとても難しかったです。（LE男性）

日常で海外の同世代の方たちと交流することが無かったので、とても新鮮で楽しかったです。また、国によって文化や価値観も全く異なるので、勉強にもなったし、物事を日本人目線ではなく、海外の人たち目線でも考えられるようになり、これから海外の人たちとかかわるときにこうしたら喜んでくれるかな？これはあまりよくないことなのかな？と考えられるようになりました。（JJ女性）

まだ日本にきて二か月たってないくらいですが、外国の教育制度や留学生の勉強に対する努力のすごさに刺激を受けました。（LC男性）

一日で留学生の方々と仲良くなるるかすごく心配だったけど、みなさんすごく優しくて日本語も上手でたくさんの方と話しながら楽しく太宰府が観光できて良かったです。（EE女性）

アジアの留学生だけでなく、欧米の留学生とも一緒に交流することができて良かった。今回は太宰府天満宮を見学することが目的でもあったけれど。みんなそれぞれ仲良くなり会話が弾んでいて最初から最後までにぎやかな雰囲気でとても楽しかった。（CB女性）

ウォッシュバン大学研修生受入れ

国際センターでは協定大学のアメリカ・ウォッシュバン大学から研修生を招き、日本文化プログラムを行っています。プログラム期間中、日本文化体験、市内見学引率、交流会企画など、さまざまなサポートをFITにお願いしています。

ウォッシュバン大学の学生をキャナルシティーまで連れて行きました。やっぱりNativeの話すスピードなどついていけない部分があってコミュニケーションが取れないこともありました。けど、みんなFriendlyだった。（LE男性）

みんな焼き肉をおいしそうに食べていました。何人かで折り鶴を折ったんですがみんな難しそうでした。（JB男性）

アサヒビール工場見学ということで私たちが日ごろから親しんでいるビールがどのような場所でで き、どのように作られているかを見ることができ貴重な体験をすることができいました。研修生の方々も日本のビールが作られている場を訪れ、試飲会で実際にビールを飲むことで日本のビールのおいしさを実感し、有意義な時間になったことかと思います。（EE男性）

会って1時間くらいに出発したのですが、みんなコミュニケーション能力が高くすぐに打ち解けられました。人形ペイントでは、すごく凝って作る人、簡単に作る人などユニークあふれた人形が多くあり楽しかったです。（JB男性）

参加して一番良かったことは、ネイティブスピーカーに囲まれた一日を送ることで、これまで自分には無かった「英語」の奥深さに気づかされ、濃い一日となったことです。研修生たちもみんな優しく、プライベートでも後日遊びに行きたいと思える友人がたくさんできました。（EE男性）

アメリカ人との関わりの中で「自分の価値観を押しつけず、かといって鵜呑みにしない」ことの大切さを実感できた。（EE男性）

長崎にある平和記念館でみんなが真剣に見学してくれてうれしかったです。（JB男性）

日本の歴史や歴史的な街並みを見ることができ、みな喜んでいた。（JB男性）

ウォッシュバン大学研修生と一緒に太刀洗平和記念館と豆田町を訪れました。前日の長崎研修が交通渋滞の影響で時間が押してしまったと聞き不安もありましたが、5分前行動を心がけ、何も問題なくすすめることができました。（EE男性）

他の二人のFITの先輩方は英語が堪能で助けられる場面もありましたが、これからより英語学習に対して意欲的に取り組もうというモチベーションにつながりました。（EE男性）

交通機関のバスを使っての移動でしたのがみんな指示にしたがってくれたのでスムーズに移動できました。みんな日本庭園の雰囲気が好きだったようで、楽しそうでした。建物の中が居心地が良かったようでみんな動きたがりませんでした。（JB男性）

簡単な日本語を使って話そうという内容でしたが、どう伝えたら良いのか難しくもありました。普段、気にせず使用している言語が相手にとって簡単ではない、しかしお互いが会話を楽しむためにどうしたら良いのか私も考え実行しました。相手からの質問を待つだけではなく、私から話しかけると留学生が嬉しそうにしており、とても印象的でした。（CF女性）

参加しているFIT学生の英語力が高く、積極的に交流しようとする姿がとても印象的で、私も今以上に英語の勉強や積極的に動かなければならないと気づきました。（CF女性）

短い時間でしたが、研修生のみんなが一生懸命に日本語を話す姿を見られて良かったです。また、日本語と英語における構造の違いについて研修生と話してみて、日本語という言語の難しさを再確認できました。（EE男性）

研修生はすごくフレンドリーで、ニコニコ楽しそうに話してくれ、また分からなければもう一度言ってくれたり、言い換えたりすごく親切に会話してくれました。（MN女性）

アジア圏協定校との学生交流セミナー

国際センターではアジア圏協定大学から研修生を招き、本学学生との共同学習を行なっています。セミナー期間中、キャンパス案内、見学引率、共同学習補助などさまざまサポートをFITにお願いしています。

今年度は中国、韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、タイの協定校から１５名の研修生が参加しました。

●○●ボランティアの感想●○●

様々な国から到着する学生をスムーズに案内できたと思います。また、到着してからの時間も学生たちは各部屋でくつろぐことができたので安心しました。（JB男性）

キャンパスツアーでは、時間内に指定された場所に加え、地下鉄の駅なども紹介することができました。全体的にとてもスムーズに進んだと思います。わからない部分もその場で確認してくれるなど、とても有意義な時間になったと思います。（JB男性）

食堂、図書館、オアシス、コンビニや主要な場所は全て案内し、その間もお互いの好きな音楽、食べ物、趣味の話をして会話が途絶えず楽しい時間でした。（JB男性）

長旅で疲れているにも関わらず、アジア圏からの研修生たちが意欲的に今回のプログラムに参加していることが伝わってきました。福岡や日本の文化に大変興味を持ってくれていると感じました。歓迎会・余興では皆さん楽しそうでしたので、大成功だったと思います。（EE男性）

歓迎会と余興に参加させていただきました。FITでこのように協定校との行事のお手伝いをさせていただいたのは初めてで余興前は先輩たちと協力しました。研修生や歓迎会に参加した学生・先生方にとって充実した余興を作りあげられたと思います。（EE男性）

歓迎会の余興FITに選ばれたのはとてもうれしかったです。リーダーやサブリーダーの指示に従って、歓迎会で研修生を案内しながら、良い雰囲気をつくることは私たちの責任です。このFIT活動によってコミュニケーション能力も上がりました。（CC男性）

アジア圏からの留学生との交流を通して、宗教・食文化・バックグラウンドなどの異文化理解の大切さを改めて実感しました。（EE男性）

反省点は、日本の事を説明する時に簡単な日本語で伝えることに少しつまづいた事です。私たちは普段、ヤバイやすごいしか使わないので、外国の方に伝えるときに言葉が出てこない時があり、語彙力を高めるべきだと感じました。そして、研修前に事前に自分たちの国について調べた際、知らなかったことが多かったので、私自身勉強になったし、もっと自分の国の歴史に興味を持つべきだと思いました。（EE女性）

今回の研修旅行では言葉の違いによりコミュニケーションがスムーズに進まないことが多かったです。しかし国際交流は楽しいだけではなく、大変なこともあると気づくことができ、互いが互いを理解しようと努めることが一番大切だと思いました。（CB女性）

みんながんばって日本語で発表していた。英語で発表していた留学生もかっこよかったです。どのグループの発表も興味深かったです。（JB男性）

司会進行の立場で参加させていただきました。「働き方」という、まさにこれから就職活動を始める私にとっておもしろいテーマでした。特に韓国でAI面接が導入されていることに驚くとともに、私はその人自身の人間性を測るにはあまり適切ではないのではないかとも感じました。また、研修生のみなさんには毎回驚きますが、流暢な日本語や英語で自分の意見を堂々と発表していて、すばらしかったです。日本人の学生さんたちも発表ギリギリまでそばでしっかりサポートしていてお互いにいい経験となるプログラムだなと改めて感じました。（CF女性）

修了式では、共同学習での発表を終えた日本人学生が涙を見せるなど、たったの10日間とは思えないほどに濃い時間だったと改めて感じました。（EE男性）

毎日のように一緒にいた友達とお別れをし、共に過ごした10日間に思いを馳せると目頭になにか熱いものを感じました。（JB男性）

共同学習者としても参加させていただいていたので、同じグループの友人を見送ることができてよかったです。国際線は普段利用することがないため、ボランティアの私自身も少しとまどってしまいました。しかし、職員の方に聞いたりして、研修生をサポートし、無事に飛行機へチェックインすることができていたので安心しました。後に無事家に着いたとの連絡を受け取りました。（LJ女性）

留学生日本語クラスのアシスタント

留学生のための日本語クラスにFITがアシスタントとして参加し、留学生の日本語でのディスカッションや発表のサポートをしています。

●○●ボランティアの感想●○●

初めてでまったくわからない状態だったから、少し緊張したけど、留学生と話すのはとても楽しかったです。留学生のみんながちゃんと話してくれたおかげで話し合いがスムーズにできたので良かったです。話していく中で、男女の壁について韓国と中国は全くなく、日本人だけ男女の壁があると感じました。でも、日本も中国も韓国も残業があったり働き方については似ている部分が多いと感じました。（CF女性）

日本人との恋愛観や就職についての考え方など、違うことまたは同じこともあったけど、話していてとても楽しかったです。私にとってすごく良い時間でした。（CC女性）

留学生が日本のある1つをテーマにして1人ずつ発表する授業だった。発表内容がとても興味深く、面白かった。また、知らなかったこともたくさんあり、日本の魅力が分かって自分も勉強になった。（CB女性）

授業の内容は4～5人グループでテーマが書かれたカードについてみんなで話し合うというものでしたが、みんなおもしろくて楽しい雰囲気でした。そして、私も英語と韓国語をもっと勉強しなければいけないと思いました。（SC女性）

留学生の方々はとても勉強熱心だと感じました。それぞれの目的を持ち取り組んでいることに良い刺激を受けました。（CF女性）

未来の世界と日本についての話し合いというコンテンツだったのですが、私たちFITの学生にとっても様々な国の人と異なる観点から未来を見据えることのできた良い機会だと感じました。意見が多すぎて、まとめることの方が大変というのは、やはり海外の方と授業をしているなと強く感じる場面でした。（EE男性）

世界と日本の未来について２つのグループに分かれて行いました。私たちのグループは100年後の日本についてアイディアを出しました。留学生から見た日本を知ることができて、私自身、新たな発見ができました。また、グループ内での意見交換では留学生の方が積極的に発言をしており、私も意見を言おうと心がけました。次回参加する場合は、簡単な日本語だけでなく、二文字や三文字熟語などを用いて留学生の方が多く学べるサポートをしたいと思います。（CF女性）

留学生研修旅行引率

国際センターでは毎年、留学生のための研修旅行を実施しています。FITが引率として同行し、参加者の受付やバス内でのレクリエーション、見学先での留学生との交流を行なっています。

●○●ボランティアの感想●○●

今年度は日帰りで城島高原パークに行きました。総勢170名が参加しました。

今回の日帰りバス旅行では、留学生の人数が多かったので、不安もありましたが、無事にみんなで帰ってこれたので、良かったです。現地だけでなく、バスの移動中も私の隣は韓国の留学生だったので1日中たくさん会話することができいました。今回は、同じ学部の学部留学生や、交流して知り合った留学生が何人かいて、また話すことができて良かったです。まだ関わったことのない留学生も人たちと話せていたらもっと良かったと思います。現地に着くまでは3時間の滞在は短いと思ったけれど、意外とたくさんの乗り物に乗ることができ、とても楽しむことができました。（CB女性）

この活動をする前、留学生の人数がとても多く、不安なことが色々ありましたが、同じ号車のFITメンバーや引率の先生と一緒に協力して、無事に終えることができ、本当に良かったです。FITでの活動は達成感や喜びをみんなで共有することのできる素晴らしい活動であると思っています。また活動の中で、留学生と過ごす時間は新たな発見と出会い、そして、学ぶことがたくさんあります。この学びをとおして、今後の自分の成長へとつなげていけたらと考えています。（EE女性）

自由時間が3時間以上あったのですが、それでも全然足りないくらい楽しかったです。1000円のミールクーポンもすぐに使い切って、最後にはみんなでかき氷を食べました。（JB男性）

受入れ交換留学生の大相撲九州場所観戦引率

国際センターでは毎年協定校からの交換留学生を対象に、大相相撲九州場所の観戦を行なっています。FITが引率し、見学先での案内を行ないました。

●○●ボランティアの感想●○●

自分自身、世界でも有名な日本のスポーツである相撲のルールや歴史について詳しく知らなかったので、今回の活動をきっかけにもっと日本の文化を外国人に伝えられるようになるために勉強する必要があると思いました。（LE男性）

予め相撲についての知識はある程度確認してはいたが時折留学生から斜め上の質問をされることがあり、少し戸惑った。相撲という名前は日本だけだが、似たような競技は世界中にあるので、それらの関係性をもう少し勉強すれば会話も弾むかもしれないと思った。（LJ男性）

この活動が初めてだったため、とても緊張していました。しかし、日本語をとても流暢に話す留学生をみてすぐに不安がなくなりました。その中でも自分が相手に伝えようとしている言葉が伝わらなかったり、この言葉は日本でしか通じないのかと新たな発見がありました。多少の言葉の壁はありましたが、留学生の方も私にわかりやすいような言い方をしてくれたり、私も工夫して伝えたり、お互いに寄り添うことで、言葉の壁がなくなっていくものだと感じました。（JB女性）

相撲は長い時間で飽きてしまっている学生もいましたが、最後の横綱白鳳が勝ったときはみんな盛り上がっていてうれしかったです。（LE女性）

日本の伝統文化に触れ、海外の文化を知ることができたので、充実した時間が過ごせました。（JB女性）

早めに会場に着くことができたので、みんながおのおの写真をとる時間も確保でき、とても良かったのではないかと思う。私自身初めての相撲観戦だったので、下調べから学ぶことも多く、改めて日本文化に触れることのできた良い機会だった。（CC女性）

FITに登録するには？

FITは全学部生および大学院生を対象としています。登録は随時受付けています。

★申込手順★

申込書記入（申請書は国際センターにあります。）

↓

保険加入　（学内設置の自動証明書発行機で加入できます。）

傷害保険（通学中傷害危険担保特約）（必須!!）

↓

申込書、保険料の受領書を国際センターへ提出

↓

登録完了

↓

登録後

ボランティア募集の案内はFUポータルweb mailにて登録者に一斉送信しています。募集内容を見て、参加できる活動があれば、窓口で申し込んでください。なお、募集人員に対して応募者多数の場合は、国際センターで選考させていただきますのでご了承ください。

※ボランティア募集に関するメールを見逃さないよう、FUポータルweb mailは頻繁に確認してください。また、必要であればweb mailに届いたメールを携帯電話に転送するよう各自設定してください。

※ボランティア行事に実際に参加する際は、別途「学研災付帯賠償責任保険Bコース」への加入が必要です。